



なんぶ

議会だより

第54号

平成30年3月議会
発行/平成30年5月



- 平成30年度当初予算2
- 一般質問8
- 住民の声をきく会14
- 直撃インタビュー15
- 母塚山の有効活用・あとかき16

ピカピカの一年生
西伯小学校入学式

平成30年度
当初予算

一般会計

賛成

9人

反対

3人

歳入・歳出 69億6,800万円

賛成多数で可決

なんぶ暮らし予算

3月 定例議会

平成30年度3月定例議会が、1日から20日までの会期で開催され、平成30年度一般会計・特別会計予算、条例の制定、公の施設の指定管理、平成29年度一般会計補正予算など 34議案と6件の議員発議案が審議され、1件の議員発議案が否決され、他全ての案件について可決されました。

討論

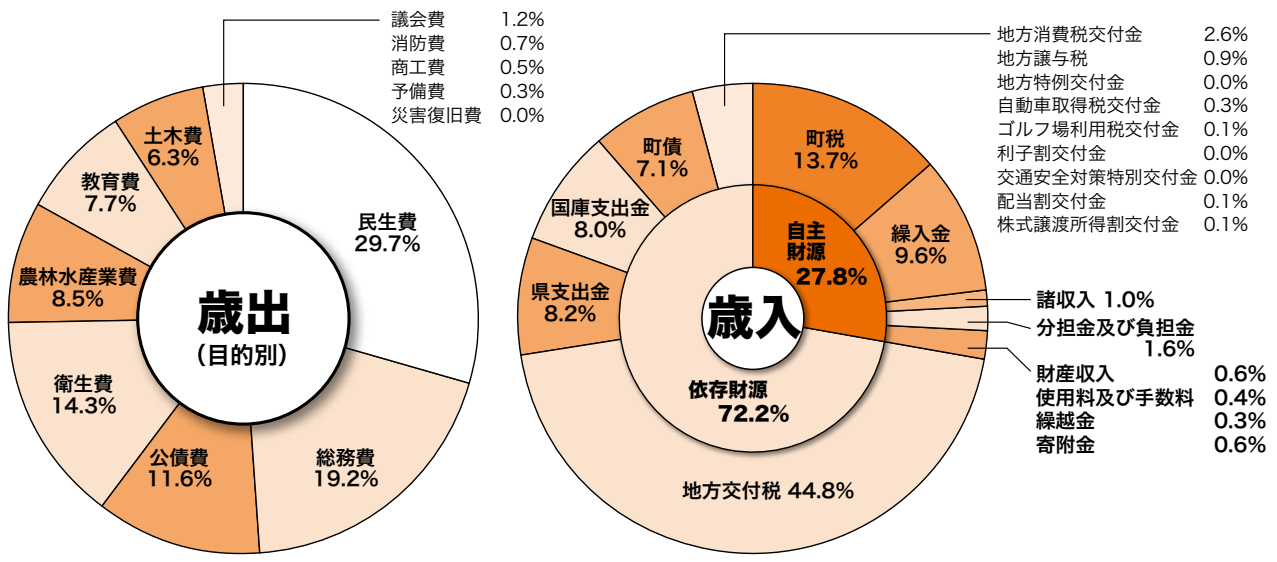
反対

① C R C、生涯活躍のまちに基づいた地域拠点整備の予算について、地域の方が何が必要かを考えてそこから適切なものを整備していくこと。町の地域拠点施設整備は来る人に頼った整備事業になってしまっている。果たしてこれが本当に町の活性化になるのか、という点で反対である。

賛成

① 町長の公約に沿った流れのものだと思う。C R C関係で J O C A が共生施設を作るということだが、これも時流に乗った施策だと思う。これからは、できた施設を協議会や住民といかに活用して、出来てよかったというような施策とするのが、町の大きな仕事だと思う。賛成して皆で協力していきたい。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度一般会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×



《当初予算の内訳》

平成30年度一般会計予算は懸案の小中学校の空調設備整備事業や東西町公園整備事業・水道統合事業に伴う出資金などが完了したが、サテライト拠点施設整備事業(手間)や県西部地域企業立地促進事業や J O C A 連携事業が増加したので、対前年度比1.1%増となった。

主な事業

塵芥処理費事業	3億2,509万9千円	平成29年度のクリーンセンター設備改良工事に伴い南部町・伯耆町清掃施設管理組合へ工事負担金を納入する。
病院事業費	4億5,590万8千円	病院経営の安定を図り、地域住民がいつでも身近に安心して医療を受けることができるよう、必要な経費を補助する。
新規 子どもの広場整備事業	677万8千円	身近に子どもの遊び場が少ないという子育て世代のニーズに対応するため、29年度にまとめた「子ども広場整備構想」に基づき、今年度は場所の選定・用地取得・測量設計委託を行う。
新規 緑水園水道接続事業	442万8千円	町水道である入蔵水源を利用し、集落の末端部から既存の緑水園水源付近で本管を接続することで安全な水道水を緑水園まで送る。
農林業基盤整備補助金交付事業	344万円	農林地を守り、農林業生産の継続を図るために、農林業生産基盤(農林道・用排水・灌がい施設・ため池等)の防災措置を支援する。工事主体は地元が行い、町が100万円を上限として補助する。
新規 緑水湖ふれあい市管理事業	205万9千円	指定管理を行っている「緑水湖ふれあい市運営委員会」の屋根が雨漏りするため。雨漏り防止のため屋根修繕を行う。
新規 森林台帳システム整備事業	515万4千円	森林法の一部改正(市町村による台帳整備、公開が平成31年4月から必須となる)により、市町村が実施する森林台帳を整備し、県の整備する森林クラウドに加入することで、台帳と地図情報の一元化をはかる。

J O C A 連携事業	9,900万円	J O C A (青年海外協力協会)のネットワークを活用し、青年海外協力隊経験者を誘致し、その経験やスキルを活用して法勝寺高校跡地に交流拠点を整備するため、温泉掘削への支援を行う。
新規 サテライト拠点施設整備事業(手間地区)	3,777万8千円	天萬地区にある空き家を改修し、地域の人たちが趣味やイベントなどに自由に利用でき、ゲストハウスの宿泊者等と交流を図る交流喫茶スペースを整備する。
コミュニティバス運行事業	3,965万1千円	平成30年10月からの東長田・上長田線廃止に伴うデマンド型交通を導入する。(車輛 2台購入)
新規 県西部地域企業立地促進事業	1,170万円	県西部圏域に進出した企業に対し、町内在住者の雇用に対し1人あたり30万円を補助する。
ため池減災防災対策推進事業	1,455万円	ため池の堆積した土砂や老朽化した取水施設、余水吐の改修、堤体の補強を行って、ため池の破堤被害から下流域の人家や農地等への被害を防止する。国事業の採択基準に満たない小規模なため池。
農地耕作条件改善事業	1,780万円	農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化を加速し、意欲ある農業者が農業を継続する環境を整え、農業競争力の強化を図る事業。農地中間管理事業の重点実施区域に指定されることが見込まれる区域が対象とする。

平成30年度太陽光発電事業
予算…歳入歳出
1億9,842万円

賛成
基金の使途についで、温泉掘削に使うことは反対である。

反対
基金の使途に使うよう門戸が広がったもので、JOCの共生施設も大きなまちづくりであると思うので賛成する。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度太陽光発電事業特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

- 平成30年度…歳入歳出143万円
南部町住宅資金貸付事業
 - 平成30年度…歳入歳出290万円
南部町墓苑事業
 - 平成30年度…収益的收入1億9,273万円
南部町水道事業
資本的收入 2,583万円
収益的費用2億4,391万円
資本的支出1億2,093万円
 - 平成30年度…収益的收入24億4,940万円
南部町病院事業
資本的收入 6,529万円
収益的費用24億4,940万円
資本的支出 2億4,611万円
 - 平成30年度…収益的收入4,406万円
南部町在宅生活支援事業
収益的費用4,406万円
- 全員一致で可決成立**

公の施設の指定管理者の指定について
特産センター野の花…公益社団法人 青年海外協力協会

賛成
運管会社は円満に解決したと聞いています。今後指定管理を受け、JOCの地域資源を活用するのウハウウに期待するの賛成する。

反対
今まで伯耆町、南部町、JAで運営したが採算が合わず解散となった。これまでの総括をすべき。指定管理に至った状況、経営の見通しなどをきちんとやらずに指定管理にすると、伯耆町が抜けたことにより予算上は倍額が必要となってくる。以上の点をもって反対である。

指定管理名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
公の施設の指定管理について(特産センター野の花)	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

公の施設の指定管理者の指定について
めぐみの里…公益社団法人 青年海外協力協会

賛成
今後の農業の6次産業化は、この施設を拠点としてJOCのノウハウを活かされ、町民に良かったと思われ施策になることを期待して賛成する。

反対
農産加工品の中心となる施設であり、町が責任を持って直営すべき。これまで町は手を打っていない。町民ニーズは町でなければつかめないものであり、軌道に乗るまでは町が責任を持つべき。JOCは評価するものだが、何でも他人頼みでは地域活性化はできない。町の姿勢が一番の問題点であり反対する。

指定管理名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
公の施設の指定管理について(めぐみの里)	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

特別会計予算

平成30年度南部町国民健康保険…歳入歳出13億4,700万円

賛成
財政が良くなると言われるが激変緩和措置が講じられる。また、国の制度で拡充される。県一本化によって一番良いのは、南部町でガレージなど大きな病気が出ても影響がないような仕組みになっていることであり賛成する。

反対
国保を広域化したところで根本的な解決とはならず財政は良くなる。県が一括にやっていると行くなればもつと県が市町村に対して補助金を出すべき。介護医療福祉は、住民にとって身近な自治体がお金のことも含めてやるべき。広域化はゆくゆく負担増となってくるため。町が主体的に医療を守っていくべきで反対である。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度国民健康保険特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

賛成
実質的な事務は町が行っているし、それに対しての保健事業もやっているため、町民の声は反映できている。また軽減特例の廃止については、準則に基づくものであるため理解していただきたので賛成する。

反対
町民の声が反映できていないのでは。軽減特例が廃止になったため当然負担増となる。軽減を第一に考えるべきで反対である。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度後期高齢者医療特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

平成30年度南部町農業集落排水事業…歳入歳出2億4,419万円
平成30年度南部町浄化槽整備事業…歳入歳出6,320万円
平成30年度公共下水道事業…歳入歳出2億704万円

賛成
①加入率が上がってきている。使用料も今の段階では値上げにもなっていないし、是非進めていくべき事業であるため賛成する。
②設置を希望される方が頭打ちになっで行く現状の中で、前向きな計画を立て努力されている事業であり、賛成する。
③加入率を上げていくためには農集、公共、浄化槽の3つの事業を進めていくべきで賛成する。

反対
加入金が30万円、分割の場合は割増となる。日々使うものであるため、負担軽減を図るべきで反対である。
農業集落排水事業、浄化槽整備事業、公共下水道事業とも同じ理由により反対である。

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
平成30年度農業集落排水事業特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×
平成30年度浄化槽整備事業特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×
平成30年度公共下水道事業特別会計予算採決結果	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

3月定例議会報告・議員発議

南部町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する
条例の一部改正する条例 ●提出者 南部町議会議員 井田 章雄
生活保護費の引き下げ中止を求める意見書 ●提出者 南部町議会議員 細田 元教

賛成多数により可決

議員発議／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正する条例	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×
生活保護費の引き下げ中止を求める意見書	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	○

憲法を国政に生かすよう求める意見書 ●提出者 南部町議会議員 亀尾 共三
「働き方改革」一括法案の提出をやめるよう求める意見書 ●提出者 南部町議会議員 加藤 学

賛成少数により否決

議員発議名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
憲法を国政に生かすよう求める意見書	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	○	○
「働き方改革」一括法案の提出をやめるよう求める意見書	○	×	×	×	×	×	欠	×	×	×	×	○	○

森友学園問題に関する公文書改ざんの真相究明を求める
意見書 ●提出者 南部町議会議員 真壁 容子

可否同数のため議長
裁決により否決

議員発議名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
森友学園問題に関する公文書改ざんの真相究明を求める意見書	○	○	○	○	×	×	欠	×	×	×	×	○	○

地方行政調査特別委員会の設置について ●提出者 南部町議会議員 板井 隆

全員一致で
可決された

29年度 補正予算の結果 全員一致で可決成立

●一般会計補正予算……歳入歳出2,248万7千円減額 歳入歳出総額79億1,589万5千円
《追加議案》

●一般会計補正予算……歳入歳出1億9,600万円減額 歳入歳出総額77億1,989万5千円

- 国民健康保険事業特別会計…歳入歳出7,477万7千円減額 歳入歳出総額14億7,184万4千円
- 後期高齢者医療特別会計……歳入歳出 445万9千円増額 歳入歳出総額 1億3,484万9千円
- 農業集落排水事業特別会計…歳入歳出 908万6千円減額 歳入歳出総額 2億6,116万8千円
- 浄化槽整備事業特別会計……歳入歳出 268万2千円増額 歳入歳出総額 6,565万2千円
- 公共下水道事業特別会計……歳入歳出 25万円減額 歳入歳出総額 1億8,657万円

平成29年度 病院事業特別会計

収益的収入 5,635万5千円増額し、24億9,998万6千円	収益的費用 4,686万8千円増額し、24億9,049万9千円
資本的収入 5,131万4千円増額し、1億6,969万5千円	資本的支出 2億4,611万円

3月定例議会報告

南部町特別職の職員で常勤のもの
給与及び旅費に関する条例の一部改正

改正内容
対象者 町長・副町長・教育長

期末手当
6月支給 2.5%アップ 12月支給 2.5%アップ

賛成
人事院、「勧告に基
づくものであるた
め、これは従うもの
として賛成する。

反対
町民の暮らしが大変
な状況の中にあっ
て、特別職の期末手
当の引き上げには反
対である。

討論

条例名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
給与及び旅費に関する条例の一部改正する条例	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

南部町国民健康保険条例の
一部改正

改正内容
国民健康保険が県に一本化
されるため条例を一部改正
するもの。

賛成
反対意見は、国保一
本化に反対という意
見だが、分母を大き
くして、いろんな病
気に対応できる体制
になるということであ
るため、国保一本
化に賛成の立場であ
り、条例改正にも賛
成する。

反対
条例改正の背景と
なっているのが、平
成30年度からの国保
一本化であるため反
対である。

討論

会計名／議員名（議席番号順）	加藤	荊尾	滝山	長束	白川	三鴨	仲田	板井	景山	細田	井田	亀尾	真壁
南部町国民健康保険条例の一部改正について	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	×

全員一致で可決成立

南部町被災者住宅
再建支援条例の
一部改正

改正内容
鳥取県被災者住宅再建
支援条例が一部改正さ
れ、支援の対象が拡充
されたことにより条例
を一部改正する。

南部町賀野地域
拠点交流条例の
制定

制定内容
30年4月1日に開所予
定の賀野地域交流拠点
施設（生涯活躍のまち
賀野サテライト拠点施
設）設置条例。

南部町太陽光発電
基金条例の
一部改正

改正内容
基金の設置目的及び処
分について「まちづく
り」に必要な事業を新
たに追加するため条例
を一部改正する。

南部町後期高齢者
医療に関する条例
の一部改正

改正内容
30年4月1日に施行され
る高齢者の医療の確保
に関する法律の規定新
設により条例の議決。

南部町特別医療費
助成条例の
一部改正

改正内容
障がい者の日常生活及び
社会生活を総合的に支援
するための法律の一部改
正に伴い改正する。

南部町体育施設
条例の一部改正

改正内容
30年4月1日に開設予
定の南部町東西町ス
ポーツ広場に関する条
例の議決。

南部町上水道給水
条例の一部改正

改正内容
水道加入金の改正をす
るため条例を一部改正
する。

鳥取県行政不服審査会
共同設置規約の変更に
関する協議について

協議内容
鳥取県行政不服審査会
から、八頭環境施設組
合が脱退するため規約
の変更を行う。

あなたの声を
町政に問う！



【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

	議員名	発言時間	質問事項
1	白川 立真	20	1 新学習指導要領
2	荊尾 芳之	30	1 保育行政
3	板井 隆	20	1 JOCA(青年海外協力協会)との連携事業
4	亀尾 共三	30	1 複合施設整備基本計画 2 子育て支援施策
5	加藤 学	30	1 通学路の交通安全 2 水道料金 3 南部町に於ける農業
6	真壁 容子	30	1 生活保護対策 2 生活困窮者自立支援施策
7	景山 浩	30	1 政策立案・決定過程の可視化
8	仲田 司朗	25	1 林業政策 2 健康長寿のまちづくり事業
9	滝山 克己	25	1 森林経営計画の推進 2 町有林の整備と有効活用 3 自動車免許証自主返納者に対する支援
10	細田 元教	30	1 いきいき百歳体操 2 あいのわ銀行 3 残土処分場 4 移住定住施策

新学習指導要領

白川立真 議員

Q 「まち未来科」の推進に家庭との「コラボを

A 学校現場の視点を柱に取り組みたい 教育長



白川 学習指導要領の改訂は、背景にどのような課題があるのか伺う。

2年前から先行実施している「まち未来科」は、この町や社会というものを広く学ぶコンセプトになっている。家庭の方々と仕事について話し合いながら社会を深く学ぶような事ができないか伺う。

また、教育全般において道徳教育が一層充実される。その柱として道徳が教科化されることになった。道徳教育は、子供たちに何を求めているのか伺う。

教育長 改訂の背景として、グローバル化や情報化などの社会的変化が人間の予測を超えて著しく変化したことにある。人工知能など予測が極めて難しい近未来社会を見通したとき、新た

な視点での「生きる力」の育成が求められている。

2年間「まち未来科」を推進してきた。将来設計力、キャリア教育は中学校が中心になるが、小学校段階で家の人になるについてのインタビューをしながら社会の学びを深めていくことは、中学校につながるキャリア教育、家庭に開かれたカリキュラムになっていくと思う。

一方で、多様な価値観をもつご家庭も増えている。学校現場からの目線も大事にしながら教育行政として取り組んでいきたい。

道徳については、「いじめ問題」がその発端となっている。クラスの仲間との議論を通して、多様な考え方に触れ理解し合いながら、自分の事として考え、命の大切さを学ぶ事ができる授業を目指したい。

保育行政

荊尾芳之 議員

Q 保育園の運営と今後は

A 保育の質的確保と量的確保で検討 町長



荊尾 新年度の4園の児童の入園状況はどうか。これまでとの変動はあるのか。特に0歳児、1歳児、2歳児の入園状況はどうか。待機児童の発生はあるのか伺う。

保育士不足と言われているが、配置状況はどうか。
現在、直営が2園で指定管理が2園だが、この状況の課題と今後の4園の運営について問う。

町長 新年度は、すみれこども園が114名、ひまわり保育園53名、つくし保育園94名、さくら保育園が65名で、合計326名である。そのうち、低年齢児は、4園全体で0歳児9名、1歳児が43名、2歳児が56名で、合計108名となっており、各年齢児の待機児童が0歳で4名、1歳児で4名であ

る。
保育士の配置状況は、直営の2園で正職員19名、非常勤職員8名、指定管理の2園で正職員22名である。加配保育士は4園で3名である。保育士は国の配置基準に沿って配置しているが、保育士不足により0歳児及び1歳児で基準を満たす保育士の配置が出来ず、待機児童が発生している。

すみれこども園以外の3園は、老朽化が進む中、適宜修繕を行いながら運営を行っている。近い将来、建て替えが必要となるので、その時期の検討と規模の検討が必要になってくる。園の建て替えや統合の問題について、また、現在2園を直営、あと2園を指定管理で運営しているが、今後、園児数の減少は残念だが進むと思われる。子ども・子育て会議を通じて、保育の質的確保、量的確保をどう進めるか、慎重に検討したうえで、今後の方向性を出していきたい。

青年海外協力協会(JOCA)

板井 隆 議員

Q JOCA連携事業について

A 生涯活躍の町づくりを一步前にすすめたい 町長



板井 青年海外協力協会が地域交流拠点を建設する「生涯活躍のまち連携事業」について伺う。

町長 JOCAとは、発展途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かし、2年以上にわたって活動してきた青年海外協力隊のOB・OGで組織されている。

法勝寺高校跡地に障がい福祉・高齢者福祉サービスや子育て支援など、「ごちゃまぜ」とよぶ、地域交流拠点を協会が建設の計画をしている。

今年度計画の「野の花」「めぐみの里」の指定管理による、梨・柿などの果樹業の振興事業と法勝寺高校跡地の拠点整備事業として施設的设计、温泉の掘削などが行われる。
町としては、条件整備などの

取組みに対する支援を行うため、JOCA連携事業として9,900万円の予算を計上している。
これは南部町が進める「生涯活躍のまちづくり」をさらに一步前に進め、町民皆さんの笑顔がふえるまちづくりに後押しをしたいと考える。

「青年海外協力協会(JOCA)」の組織概要と理念

わたしたちは青年海外協力隊で培った精神と経験を社会に還元することを目指しています

青年海外協力協会
Japan Overseas Cooperative Association

青年海外協力隊 帰国隊員
※約4万人の青年海外協力隊帰国隊員
※全国47都道府県の「青年海外協力隊OJ会」ネットワーク

複合施設整備計画

亀尾 共二 議員

Q 検討委員会結果素案の変更を問う

A 町民の方の意見を聞き決定したい 町長



亀尾 2月1日に議会は複合施設建設調査特別委員会を開催し内容は、前日の第4回検討委員会の結果を行政側からの説明を受け、議員から質問、意見が出された。提出された素案について問う。

○検討委員会で整備の素案の基本計画が承認のようだが、計画の変更する考えはないか。
○図書館の新設移転の計画だが、その根拠と必要性の説明を問う。
○交流スペースは相当な面積を考えているが、必要性の根拠はなにか、周辺のプラザ西伯、しあわせ等の機能と併せた活用で出来ると思うが。
○建設費用及び財政計画が示されないことは、無責任であり、異常と言わざるを得ない。財政計画を検討しないのは、問題としたい。

○周辺の土地を買収し、整備費を考えると、10億円を超える事業費と思う、町民の理解が得られるか。
町長 ○今現在で計画は決定したのでなく、町民の声を聞き決定をする。

○平成24年度から社会教育拠点整備基本計画構想が取りまとめられた。
○子育て世代の親子のニーズに応え青少年の活動拠点、老若男女が集う機能を持つことの必要からである。
○検討委員会を通じ、複合施設の中にどのような機能を入れるかを中心に議論し、大体的内容は固まったと思う。財源は合併特例債の活用を想定しているところで、具体的な設計段階で、概算の予算額の提示が必要と考えている。
○面積規模、建物構造、周辺土地の買収について一定の事業費は必要と考えている。
○現在のさいはく分館より大きいと見込むが、効率的な諸室配置が出来るよう、検討していきたい。

通学路の交通安全

加藤 学 議員

Q 二つの場所に押しボタン式信号機をつける必要はないか

A 設置されることが望ましいと考える 町長



加藤 円山団地下の交差点と福里団地入口に押しボタン式信号機が必要ではないか。
又、9月議会で押しボタン式信号機設置の要望書を提出したか質問した。その後、どのように取り組んできたか。

町長 子供達や高齢者が道路を安全に横断するためには押しボタン式信号機を含め横断歩道に信号機が設置されることが望ましいと考えている。
9月議会で答弁したが、信号機の設置はたやすくはないのが現状である。警察関係者に伺ったところ、信号機の設置は限られた予算の範囲内で行われているそうだが、設置場所については交通事故の発生が多いこと、交通量の多いことなどにより優先順位が決められており、設置を要望してもすぐに設置に至らない

もどかしさを感じているのが正直な気持ちである。

9月議会以降の取り組みについては、通学路に限らず、交通安全対策に係る要望については集落から行政要望という形で地域振興協議会を通じて上げていただき、その要望を企画政策課から公安委員会へ上げている。
一方、教育委員会では通学路に係る案件と、学校やPTAから出された通学路の安全対策が必要な箇所を通学路交通安全プログラムの対象箇所として、合同点検を通じ、県や警察に早期の対策をお願いしている。今年度もご指摘の信号機設置を含め25カ所の現地確認、合同点検を実施し、様々な角度から協議がなされ、対応方針が取りまとめられている。今年度対応としては当該箇所での信号機の設置は困難であるとの結論に至ったと伺っている。

生活困窮問題

真壁 容子 議員

Q 生活困窮者支援の取り組みを問う

A 今年度からワンストップの総合窓口を開設 町長



真壁 町の生活困窮者自立支援施策を問う。平成27年度から始まっているが、この制度は、「これまで十分に対応できなかった生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、経済的課題に関する包括的な相談支援や就労に関する支援などを行うことにより生活困窮者の自立の促進を図る」と明記されている。

支援36件、家計相談10件、障がい者年金・手帳取得18件、食糧支援8件、継続支援が36件となっている。

生活に困窮されている方は地域からの孤立、家族や健康上のことなど複合的な問題を抱えている方が多いということが課題としてあがってきている。

新年度から、健康管理センター内に福祉に関する総合窓口の設置を計画している。子育て、介護、ひきこもり等、これまで各担当課で相談を受け連携していたが、複合化する問題や悩みを抱える相談が増えており、より一層の相談体制を充実させるために、一つの窓口で総合的に話を伺い、各課と社協をコーディネートするワンストップの相談窓口にできればと考えている。西伯病院や他の専門機関とも連携し、相談者の抱える課題を明確にしながら解決の方向を見定め支援していきたい。

町長 町の課題設定のプロセスには国や県が進める法律



景山 議会改革という言葉が表す意味は、議会の仕組みや活動を住民の皆様にお知らせするとともに、地域課題解決のための政策立案過程に、より住民の皆様の声が反映されるような議会としての取り組みとある。

議員は一般質問や委員会審査を通じてチェック機能を果たしたり、本会議において執行部から提案があった議案の可否の審査を行なっている。

しかし今日、より住民ニーズに則した町政とするための機能としてはこれだけでは不十分だという議論が起きている。

議会がよりこの立案過程に関与していくためには政策立案や予算編成時期の前倒しも必要ではないかと考えるが、いかがか。

町長 町の課題設定のプロセスには国や県が進める法律

や条例による大きな政策の流れに沿うものと、南部町独自の政策課題の設定がある。その独自の政策にも、町長の政策公約に基づくものと、議会や振興協議会からの要望実現のために各課が提案していくもの、更には、議員の議案提案権を行使するというものも考えられる。

政策決定までの過程の中ではパブリックコメントなど住民意見を直接伺う手法も取り入れており、また地域振興協議会との意見交換をより進めるため、今年度から地域円卓会議もはじめている。

政策立案には町民の皆様の声に耳を傾けることが最も重要だと考えている。政策立案過程の可視化については、政策立案や予算編成時期の前倒しで早い時期からの町民ニーズの聴取や議会との調整も必要かもしれない。議会と執行部はそれぞれ別個の政策立案可能な主体と位置付けられているので、それぞれの立場から住民の声に基づき結果を出すことが求められていると考える。

一般質問

町長 町では制度開始から社協に事業を委託しており、自立支援事業、家計相談支援事業を行っている。相談実績は3年で87件、生活保護6件、就労

町長 住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるため地域包括ケアシステムを構築することが重要課題で、中でも身近なところで生活支援するサービスはなくてはならないものだ。「あいのわ銀行」が生活支援サービスの提供者としての位置づけにしている。今後は制度を必要に応じて、利用しやすい仕組みに検討していく。高齢化率の上

細田 南部町は福祉の町といふことで全国に名をはせている。その根本が「あいのわ銀行」であるが、町長の所信表明、提案説明の中にも出てきていない。



A

今後は利用しやすい制度にしたい

町長

Q

立ち位置と今後の展望

あいのわ銀行

細田元教議員

昇に伴い高齢者世帯が増加する中、日常生活を支える助け合いの仕組みはこれまで以上に必要であり、「あいのわ銀行」を継続させ、時代にあったサービスの提供体制を確立し、発展させたい。



あいのわ支えあい講座

議会活動日誌

1月		
日	曜日	会議・行事
5	金	町政に対する要望会、平成30年新年互礼会
9	火	南部町商工会新年互礼会、農業委員会新年会
12	金	広報委員会
19	金	広報委員会
22	月	西部広域組合議会臨時会
24	水	広報委員会打合せ
25	木	西部町村議会議長会総会
29	月	自民党県政要望会西部総合、総務、民生常任委員会、議会改革特別委員会
30	火	鳥取県町村議長会役員会

2月		
日	曜日	会議・行事
1	木	臨時議会 全員協議会・本会議、町政に対する要望回答会、複合施設建設特別委員会
2	金	後期高齢広域連合定例議会
6	火	南部箕蚊屋広域連合議会運営委員会
9	金	議会運営委員会
15	木	西部広域組合議会（ごみ処理）
16	金	県町村議会議長会総会・表彰式
21	水	臨時議会 全員協議会・本会議、2か町清掃施設定例会 全員協議会・本会議

22	木	全員協議会・西部広域組合議会
23	金	南部箕蚊屋定例議会、全員協議会・本会議
28	水	複合施設建設調査特別委員会

3月		
日	曜日	会議・行事
1	木	定例議会 議会運営委員会・全員協議会・本会議
2	金	定例議会 本会議
5	月	定例議会 一般質問
6	火	定例議会 一般質問
7	水	常任委員会
8	木	常任委員会
9	金	常任委員会
12	月	常任委員会
13	火	常任委員会
14	水	常任委員会、企業懇談会
15	木	常任委員会
16	金	常任委員会
19	月	議会運営委員会、全員協議会
20	火	定例議会 本会議
28	水	広報委員会
29	木	西部町村議長会連絡会議

町長 ①地域指定を受けることによる財政支援はない。

②町の保有する面積の75%を有する森林について荒廃防止にどのように取り組んでいこうとしているのか。

③山の下刈り作業に伴う財政支援策はあるのか。

④竹林整備作業に伴う財政支援策は。



仲田 環境省で、日本の原風景の一つと言われる里地里山として、「生物多様性と里地里山の環境や景観」が指定されたが、農業だけでなく林業に対してもっと行政として取り組まなければならないのではないのか。

②森林台帳並びに森林位置情報システムを整備し平成31年度当初から公開する。また、森林環境税の前倒し財源を利用して間伐材の利用促進を検討する。

③森林経営計画に基づく林地について国庫補助制度がある。

④県の森林環境保全税を活用した竹林整備事業を27年度より実施して、9集落、14.41haで事業を行っている。

Q

森林の荒廃防止策は

A

森林環境税の前倒し財源を利用し検討する

町長

林業政策

仲田司朗議員

Q

森林経営計画を推進し造林地の整備を

A

経営計画の周知を図り進捗を後押ししたい

町長

造林地整備

滝山克己議員



滝山 我が町の7割以上を占める山、どこを見ても山、山林である。中でも杉、ヒノキの造林地はいたるところで目にする

ことが出来るが手入れが行き届いていない状況である。森林組合では森林経営計画の作成並びに樹立に向けて鋭意作業をされているようだがまだまだ集落説明会が10集落程度と進んでいない。

町も一体となり集落説明を推進され、森林経営計画の詳細を理解していただくことと計画そのものが分らないというような集落が無いようにしていただきたい。また、造林地が飛び地であるなどの条件不利地に対する町独自の補助

制度の創設はどうか。近隣自治体では既に実施しているようだが本町ではいかがか。

町長 森林経営計画の推進が進まない理由として、地権者及

び地形の不一致や相続人が不明などの理由から時間がかかっている状況だが、森林台帳並びに森林位置情報システムを整備し、平成31年度当初から公開すべく平成30年から準備を進める予定である。

このことにより、森林施業を行う林業事業者の情報提供を行い、事業者の計画作りが促進され、施業の活性化につながるものと考えている。

また、森林所有者にとっても経営計画や施業に係る事業制度についての情報が十分に届いていないことや、所有する森林から収益が出るのか分らないことも事業進捗の遅れになっているものと思う。

森林法の改正や新たな森林管理システムその他、林業に係る補助制度について、様々な方法で周知を図ることにより経営計画の進捗を後押ししたいと考えている。次に、条件不利地の上乗せ補助の件は、今後示される国のガイドライン等を参考に地域の森林整備や林業の振興に資する施策を検討していきたいと考えている。

JOCA

青年海外協力協会



専務理事 編田 照茂

直撃インタビュー

本年度より、とっとり花回廊にある物産販売施設「野の花」、JA西伯支所の敷地内にある、農産物加工施設「めぐみの里」の指定管理者となり、また、旧法勝寺高校跡地で温泉を基にした福祉施設を事業化される青年海外協力協会（JOCA）をご紹介します。

私は、平成2年から2年間ネパールの首都カトマンズにて、道路や公園、居住区や商業区を整理するまちづくり整理事業に携わりました。
趣味は硬式テニス、ゴルフ（スコア100程度）、北海道で暮らす二人のかわいい孫のことが頭から離れません。

Q JOCAとはどんな組織ですか

A 青年海外協力隊の帰国隊員を中心とした組織です。約80ヶ国の発展途上国で培った国際感覚、約120職種を超える多種多様な能力と実績をもつ「人材の宝庫」です。
私たちは協力隊活動で培った経験を地域社会に還元するため、自治体等と連携しながら地域の課題に取り組んでいくことを目的としています。

Q 南部町のイメージは

A 豊かな自然に包まれ、朝起きると人々の声、鳥の声がきこえてくる暮らしやすい町だと感じました。

Q 指定管理される「めぐみの里」での事業展開は

A これまでも地域の方々の手で、南部町の伝統食である美味しい豆腐や味噌がつくられてきました。その魅力ある豆腐や味噌づくりを守っていききたいと思います。可能であればPRし販路を開拓する事ができればと思います。また、地元農産物を使ったドライフルーツづくりにも挑んでいきます。

Q 指定管理される「野の花」での事業展開は

A ここには地域の様々な特産品が集まります。私たちのネットワークを活用し販路を広げていきたいと思っています。また、町内の皆様にも気軽に立ち寄っていただける中華食堂をオープンさせました。ぜひいらしてください。

Q 法勝寺高校跡地を活用した福祉施設とは

A 予定しています施設は、障がいのある方も共に働ける場として、また、子どもからお年寄りの方まで皆様が集い楽しんでいただける場として、そんなコンセプトで作りたいです。
私たちが経験した青年海外協力活動は、どんな事業も地域の方々と共に考えアイデアを出し合いながら行ってきました。そうでなければどんな事業も地域に根差しません。温泉を集いの場としながらカフェ・レストラン、放課後等デイサービスなど地域の方々とコラボしながら、人と人が支え合うまちづくりに貢献したいと考えています。

住民の声をきく会に おでかけください

今年もみなさんの声をお聞かせいただきたいと、下記の日程で開催をいたします。

日頃、想っていることや、考えていること、町政や議会への要望、ご意見など、この機会にお聞かせいただければありがたいと思います。

ぜひお出かけくださいますようご案内いたします。

6月30日(土)午後7時より
まんてんホール(天萬)

7月1日(日)午後7時より
プラザ西伯(法勝寺)



各会場には全議員が出席する予定です。

■南部町議会 発行
平成30年5月
■連絡先 南部町議会事務局
66-4804



天津地域振興協議会

はつかさん 「母塚山の有効活用」



平成21年度に10年後を目指した「天津地域づくり計画書」を作成しました。当地区には、古くから伝統行事が残り遺跡も多く、古事記に記載の民話も残されており後世に伝えるべく貴重な文化が存在しています。中でも天津地区の中央部を見下ろす標高272メートルの母塚山の有効活用を図ることが重要な取り組みとなりました。国生みの女神イザナミの墓があったとされ、山頂付近の駐車場からは正面に国立公園大山を仰ぎ、神話ゆかりの地として絶好のロケーションとなつています。訪れる人に感動を与える場所となつてほしいと、地域づくり部では東屋へ階段設置や付近ゴミ拾いや清掃等の環境美化活動を積極的に行っています。平成24年には高さ11メートルの観音像が設置され、益々多くの方が訪れるようになりました。又2月と9月には大山頂上からのダイヤ



モンド大山を撮ろうと多くのカメラファンが訪れています。今後は母塚山をもっと広く知ってもらうための、88箇所巡拝札所めぐりの参道整備への協力を検討していきます。

天津地域振興協議会

会長 種 紹夫



あとがき

全国的に議会議員のなり手不足が問題と指摘されています。原因は、人口減少と高齢化に苦しむ過疎地では議員の後継者がおらず、なり手不足が深刻しているのです。地方自治への関心の低さや不信感・議員報酬が低額であること・兼業がしにくいことなどが挙げられています。

当議会も、なり手不足解消に向けた取り組みや創意工夫を今後検討していかねばいけないと感じる昨今です。

(仲田)

広報常任委員会

委員長 仲田 司朗

副委員長

委員 荊尾 芳之

委員 景山 浩

委員 三鴨 義文

委員 白川 立真

委員 長束 博信

委員 滝山 克己

委員 加藤 学